

2017年度投稿募集！

立命館平和研究

—立命館大学国際平和ミュージアム紀要第19号—

立命館平和研究 —立命館大学国際平和ミュージアム紀要—では、

平和に関する研究論文・学術実践報告の投稿を求めます。

投稿希望の方は、2017年7月8日(土)までに投稿応募してください。

投稿応募に必要な事項：①論文の題名(仮題でも可) ②原稿の種類 ③日本語要旨(200字程度)

④分量 ⑤所属 ⑥連絡先(電話、Eメールアドレス)

投稿の流れ

2017年7月8日(土)……投稿応募締切り(ファックス又は郵送)



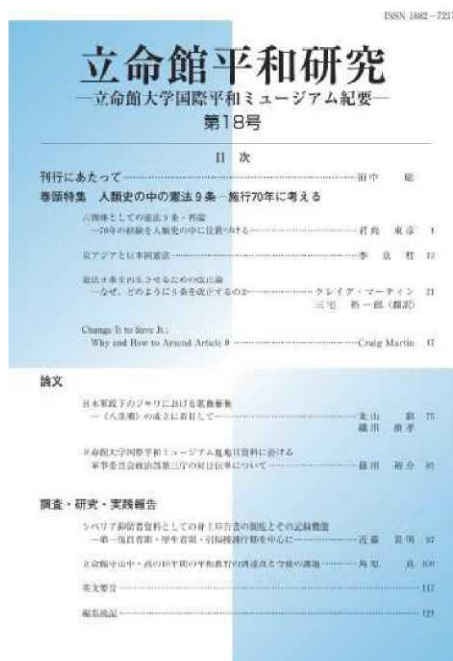
9月30日(土)……原稿締切り(受取は郵送のみ)

↓ 投稿原稿は編集委員会が審査し、12月末日までに結果を連絡

2018年3月上旬…刊行(予定)

詳しくは、ホームページよりご確認ください。

<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/index.html>



募集する原稿の種類

論文(12,000～40,000字)

資料紹介(4,000～20,000字)

調査・研究・実践報告(4,000～20,000字)等

原稿提出先・お問合せ先

立命館大学国際平和ミュージアムオフィス

『立命館平和研究』編集委員会

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

TEL: 075-465-8354 FAX: 075-465-1984

原稿執筆・投稿要項

1. 原稿の種類と分量

- ① 論文：実証的あるいは論考的研究に基づく論文であって、未発表のもの。(12,000字～40,000字)
 - ② 資料紹介(4,000字～20,000字)
 - ③ 研究ノート：論文として公刊するには至らないが、当該分野における実証的あるいは論考的研究への新たな示唆や問題提起等を含む論文であって、未発表のもの。(4,000字～16,000字)
 - ④ 書評(4,000字～8,000字)
 - ⑤ 調査・研究：調査研究の報告、新たに開発された研究方法の紹介等、学術的価値の認められる資料論文未発表のもの。(4,000字～20,000字)
 - ⑥ 実践報告：実践現場における研究の経過や事例研究の成果など、当該分野における実証的研究の進展に寄与する内容の報告であって、未発表のもの。(4,000字～12,000字)
 - ⑦ 研究展望(4,000字～12,000字)
 - ⑧ 時評・コラム(4,000字～6,000字)
- のいずれかに該当するものとします。他の出版物に掲載または採録されたものは採用しません。二重投稿は禁止します。

2. 投稿応募の手続き

原稿は、原則日本語で、ワープロを使用し、横書き(40字×30行)、テキスト形式で作成してください。著者は、本文に200字の日本語要旨を付けてください。英文原稿(ネイティブチェックが終了しているものに限る)については事前に編集委員会にご相談ください。

3. 投稿応募の締切

原稿を投稿する場合は、投稿応募をしてください。投稿応募の締め切りは7月第1土曜日までとします。論文の題名(仮題でも可)と要旨を添えて申し込みをしてください。

4. 原稿の締切り

原稿の締切りは、9月末日までとします。完成原稿と、英語タイトル及び250語程度の英語要旨は、ハードコピーと電子媒体(CD-ROM、USB等)の両方を提出してください。

5. 原稿の査読

提出された原稿の採否は、編集委員会の厳密な審査のうえで決定します。採用の場合でも内容の修正や分量の調整を依頼する場合があります。掲載、書き直し、不掲載などの結果を3カ月以内に投稿者に連絡します。

6. 他の著作物からの転載等

執筆者が、他の著作物から転載や翻訳をする場合や、図表、写真等を使用する場合は、事前に著作権者の許諾を得てください。

7. 本誌・抜刷の作成

掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷りを30部贈呈します。本誌についてさらに必要な場合は、1部につき500円/部(送料別)でお譲りいたします。

8. 掲載原稿の取り扱い

掲載された原稿は、原則として返却しません。ただし、図表、写真などの返却をご希望の場合は、原稿提出時にその旨ご連絡ください。

9. 著作権

本誌に掲載された記事に対する著作権は、執筆者に帰属します。ただし、原則として1年間は転載をお断りします。

10. 原稿提出先・お問合せ先

立命館大学国際平和ミュージアムオフィス 『立命館平和研究』編集委員会
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL: 075-465-8354 FAX: 075-465-1984